

# 山鹿市中体研

理事長 湯澤 徹志

## 1 はじめに

山鹿市は、5校10名の保健体育科担当で研究を進めている。少人数の利を生かし、授業研究会等を通して、積極的に意見交流を行いながら密に連携することができている。今年度の取組として、これまでの研究（学習サイクルの理論と実践の蓄積・保健体育授業のインフラ整備）で培ったものをベースとした授業改善を進め、より達成感を味わうことができる保健体育の授業展開を目標に研究に取り組んだ。

## 2 研究組織

会長	副会長	理事長	副理事長
工 孝幸 校長 (山鹿)	西浦伸一 教頭 (鹿北)	湯澤徹志 (菊鹿)	田島信哉 (鹿本)
学習構想部会	☆湯澤 (菊鹿)、田島 (鹿本)、丸山 (米野岳)		
フォーアアップ運動部会	☆若杉 (山鹿)、前田 (山鹿)、磯部 (鹿北)		
学習シート部会	☆上野 (鹿本)、緒方 (山鹿)、中山 (山鹿)		

## 3 活動状況

月	日	研究部会	活動の概要
5	8	総会・研究部会	○役員選出・承認 ○市研究テーマ・重点研究内容決定 ○年間活動計画の確認
7	27	夏季研修会	○各校実践報告 ○班別協議 (各部会の研究について) ○研究授業の検討
10	4	半日研	○研究授業 山鹿市立鹿本中学校 第2学年 田島信哉 教諭 保健分野 「健康な生活と疾病の予防」 ○授業研究会・協議
1	24	半日研	○「今年度の反省と次年度への志向」 ○令和5年度熊本県学校体育研究発表大会報告

## 4 研究テーマ

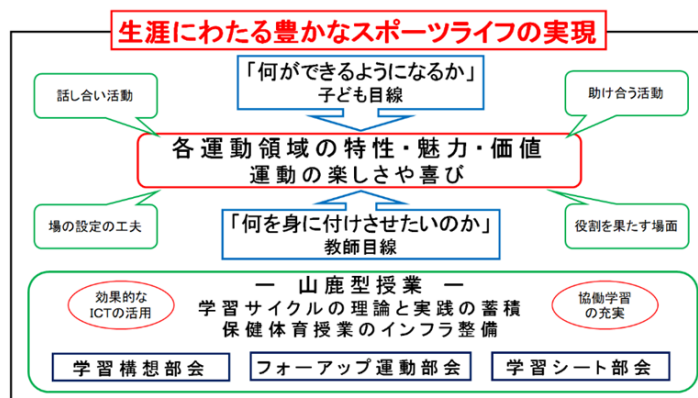
『運動に親しみ、楽しさや喜びを味わうことができる保健体育学習の在り方』

～みんなが達成感を味わうための主体的・対話的で深い学びの実現～

## 5 研究の概要

「何ができるようになるか」の観点から、教員自身が各運動領域の特性や価値に着目するとともに、生徒たちの学びの側とも「育てたい力」のイメージを共有した上で授業を展開していく必要がある。そこで、3つの部会（学習構想部会・フォーアアップ運動部会・学習シート部会）を編成し、それぞれの部会で研究を進め、すべての生徒が運動に親しみ、達成感を味わうことができる授業実践を目指した。また、豊かな関わりの中で教員が学びに必要な指導の在り方を工夫したり、

必要な学習環境を整備したりしていくことで、生徒に運動の楽しさや喜びを味わわせ、生涯にわたるスポーツライフを実現していく資質・能力の育成を図っていくことを共有した。

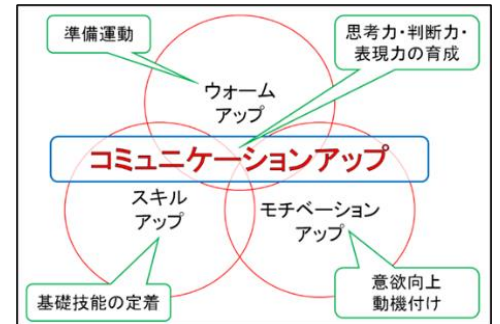


### 部会 1：学習構想部会

教員側が単元全体・授業を通して「何を身に付けさせたいのか」を明確にするとともに、生徒と「育てたい力」のイメージを共有し、「何ができるようになるか」を実感できる（達成感を味わうことができる）授業を目指す。本年度は鹿本中学校での研究授業「保健」（健康な生活と疾病の予防）の学習構想案を作成した。

### 部会 2：フォーアップ運動部会

フォーアップ運動（ウォームアップ・スキルアップ・モチベーションアップ・コミュニケーションアップ）を授業の導入で行い、身に付けさせたい力を育てるための手段とする。本年度は、体育分野において音楽や道具を活用した効果的なトレーニングの発案や、保健分野で捉えるフォーアップ運動についても検討を行った。



### 部会 3：学習シート部会

「授業のねらい」に近づくための手段として「育てたい力」を意識した学習シートの作成を行ってきた。「この時間に生徒たちに何が残るか…」「必要性を持って取り組んでいるか…」等を考えながら作成してきた。「単元のゴールの姿」、「単元を通した学習課題」、「学習活動」、「学習過程の構想」を学習シートに取り入れることにより、教員と生徒が同じ目標を共有できるように工夫した。本年度は、主に ICT による学習シートの作成・活用方法について検討を進めた。

（学習目標と活動計画）

学習目標	活動計画
（知識及び技能） （思考力、判断力、表現力） （学びに向かう力、人間性等）	（知識及び技能） （思考力、判断力、表現力） （学びに向かう力、人間性等）
10	10
20	20
30	30
40	40
50	50
60	60
70	70
80	80
90	90
100	100

## 6 授業研究会

鹿本中学校の田島信哉教諭が保健「健康な生活と疾病の予防」で、中学校2年生を対象に「がんとその予防」について授業を行った。

「がんはどのようにして予防できるだろう」という学習課題の達成に向けて、知識構想型ジグソー法を用いて授業を展開した。個人で情報を収集し、班に持ち帰って共有することで、実生活で具体的に何に留意すべきかを生徒同士で伝え合う姿が多く見られた。また、身につけさせたい知識が明確となった学習構想案の作成、導入時における前時の復習活動、タブレットで作成した学習シートの活用などを通して、教員と生徒が同じ目標を共有し、ゴールの姿が明確となった点、重点的に学びを深めていた点が成果としてあげられた。



## 7 まとめ

山鹿市中体研では、市内5中学校の保健体育教員を3つの部会に分けて研究を進めてきた。各部会での情報収集や新たな取り組みを行ってきたが、山鹿市すべての学校で統一して実践できる明確な型の確立を進め、その先生しかできない特別な授業ではなく、誰もがどの学校でも実践できるよう一般化した山鹿型授業の完成に向けて研究を進めたい。

次年度は、各校において、実践・改善に取り組み、成果と課題を明確にしていく。また、全会員で研究授業の作成・準備に関わる場を設け、1つの授業を練り上げていくことで、全会員の確かな資質向上に繋げていきたい。再度研究組織を見直し、研究の方針を明らかにしながら、次年度以降も研究授業、授業研究会を中心に据え、山鹿市の実態に応じた研究を進めていきたい。